

結成20周年
新たな大躍進
に向け出発!

月刊 動力労千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒260-0017 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2939 番
99-6、28043 (222) 4988

No.

ガイドライン・戦争法の強行可決を 徹底的に弾劾する!

あきらめないぞ! あくまで廃止へ
闘いはこれからだ

五月二四日、自民党、自由党、公明党の「野合」によって、戦争法・新安保ガイドライン関連法が強行可決された。

われわれはこの歴史的暴挙を腹の底からの怒りを込めて、徹底弾劾する。政府は、日一日と高まる院外の反対の声、全国的に広がり始めた危機感と抗議に焦りをつのらせ、日本の進路にかかわるこの重大な法案を、ろくに論議もせず、一方的に可決を強行したのである。この言語道断の暴挙を断じて許さない。我々は決してあきらめず、必ずこの戦争法を廃止に追い込む。闘いはこれからだ。

五月二一日、動力千葉を先頭とする交通関係労働者、運輸、港湾労働者などの五万人が明治公園をうずめ、戦争法を葬り去るまで力を合わせ闘うことを宣言した。いよいよ六〇年安保闘争、七〇年安保・沖縄闘争をもこえる新たな闘いははじまっている。

こうした中で、自連立政府は公明党を抱き込み、今国会を延長して、さらに戦争と暗黒の悪法を次々成立させることを狙っている。船舶検査新法をはじめ、組織的犯罪対策法、米軍用地特措法改悪さらには日の丸・君が代の法制化等である。これらは中央省庁改悪関連法、地方分権一括法と合わせ、戦後続いてきた日本国家のあり方を根もとから解体し、侵略戦争に国、自治体と労働者総体を総動員することを目的としており、それに反

対するあらゆる抵抗を押しつぶすことにある。

われわれは怒りも新たに警鐘を乱打する。「周辺事態」と称して、武力でそれに介することの結末は、今日のユーゴの惨状の道である。

ユーゴ爆撃に抗議し、立ち上がったドイツ、イタリア、ギリシャ、中国の労働者民衆と固く連帯し「NATO型」新軍事同盟―新安保ガイドライン粉碎まで闘いぬくことを決意する。

ここではつきりさせるべき事は、どの

ような悪法をつくろうとも、戦争は労働者、民衆の「戦争協力」なしには成り立たない点である。すでに陸・海・空・港湾労働者を先頭に、連合の反動を突きぬけ、「戦争協力拒否」宣言が発せられ、教育労働者は、不転転の決意で日の丸・君が代の強制攻撃との対決を強めている。

また「百万人署名運動」は、ガイドライン反対、新たな反戦闘争を創造するために、全国津々浦々で猛然と立ち上がっている。

われわれはアジアの人々と固く連帯し、共同の誓いを貫き、闘う。

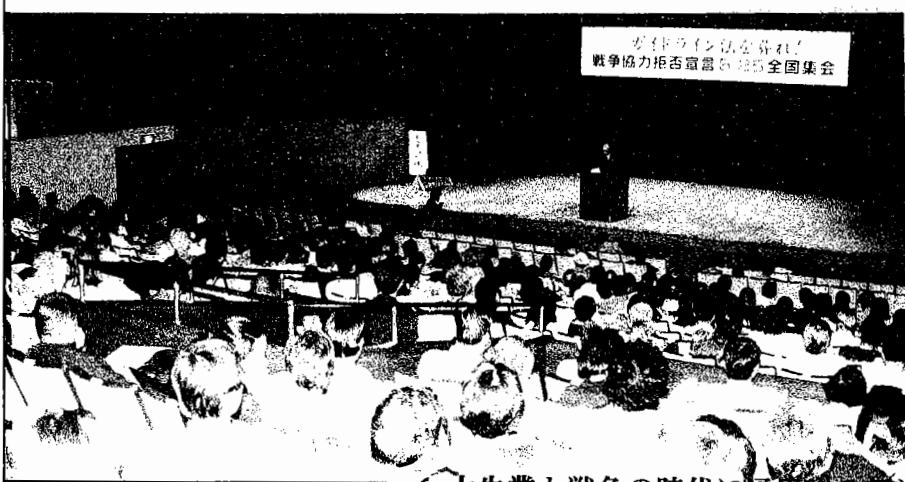
われわれは、戦争法を廃止するために全力で立ち上がることをここに宣言する。

「百万人署名運動」 新たな戦闘宣言! 5/25

・五月二十五日、社会文化会館で怒りと新たな決意に満ちあふれた画期的集会がかちとられ、決意をこめて「戦争拒否宣言」が発せられた。

集会には「陸海空労組二〇団体」から、宮脇全日本海員組合政策教宣局長が「闘いはこれから!」と檄を発し、喜多村川崎市職労港湾支部副支部長が「この間の闘いを厳しく総括し、新たな闘いに立つ」と決意を述べた。

その他、元日弁連会長・土屋公献氏からも、「廃止を求め、ガイドラインを発動させない闘いを」と訴えられるなど、多くの人からのものすごい決意表明を受け、国会デモを貫徹してきた。



社会をうつろわせる。

大失業と戦争の時代に通用する新しい世代の動力千葉を創りあげよう!